

発行 一般財団法人 田澤記念館  
 住所 佐賀県鹿島市大字高津原434番地  
 発行責任者 小池 幸照  
 発行所 鹿島印刷株式会社  
 発行日 2020年9月1日

### ◆ 田澤記念館の歩み

代表理事 小池 幸照



今年の梅雨は全国に大きな被害をもたらしました。人吉の災害は、全国的にも大きく取り上げられていましたが、ここ鹿島でも1時間に110ミリの大雨が降り、山間部や祐徳神社門前商店街も大きな被害を受けました。被災された皆様方に、心よりお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルスにつきましても、感染が全国に蔓延しており予断を許さない状況です。今年の「お盆」は、これまでに経験したことのない静かなお盆ではなかったでしょうか。

今回は、これまでの田澤記念館の歩みについて書いてみたいと思います。

昭和40年当時、鹿島市連合青年団の活動母体である事務局の問題がありました。当初は、鹿島三道会の裏にプレハブがありましたので、そこで活動を続けていました。その後、鹿島市役所裏の倉庫に移り、最後は旧鹿島中学校の体育部室の片隅に間借りをしていました。青年団活動を続けるためには事務局体制の整備が急務でありました。そこで立ち上がったのが田澤記念館の建設でした。

昭和49年、田澤家の生家保存運動が始まりましたが、維持費がかかり過ぎるとの理由で断念。昭和58年に生家を解体し、翌59年に現在の田澤記念館が出来上がりました。ここは全国青年団研修所という機能を有し、鹿島市連合青年団、藤津郡連合青年団の事務局もお世話になりました。その他、市内企業の研修会やフォーラム鹿島をはじめとするボランティア団体の会議にもよく利用されていました。開館当時から、初代原介夫理事長をはじめ、平野重徳氏、坂本武一郎氏、田中勉氏、高松昭三氏の各理事長が活躍され、現在に至っています。

現在の活動を紹介致しますと、市内企業の若手を中心に「ユースカレッジ」研修を行っています。年齢的には18歳から30歳くらいまでと多岐にわたっていて、異業種間交流や講師を招いての講義・視察研修を行っています。

次に、鹿島市・太良町・嬉野市の小学生を対象に「出前授業」を行っています。今年度は18校での授業を予定しています。ここでは、田澤義鋪の人となりや業績を中心に学びますが、「一事貫行」を各自決めて、毎日の生活にいかすことに取り組んでいます。

この他、洋裁教室や鹿島市生涯学習課との共催事業等も行っています。今年度は、コロナ禍で諸事業のスタートが遅れていますが、確実に取り組んでいきます。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

### 元会長 平野重徳氏の足跡

青年団の大先輩である平野重徳氏が今年5月にお亡くなりになりました。平野氏は、70年以上にわたって青年団活動にたずさわってこられました。地区青年団はもとより佐賀県連合青年団団長、その後は日本青年団協議会監事や常任理事、日本青年館常任理事と八面六臂の働きをされました。昭和48年には日本青年館建設委員会副委員長としてその任を果たされました。くしくも初代日本青年館開館式で田澤義鋪先生が「道の国日本の完成」と題する記念講演を行った時から48年の歳月が流れています。

平野氏は、青年団活動のみならず、近年は田澤記念館を拠点として田澤精神の継承に力を入れてこられました。また、鹿島市内の青年を中心としたユースカレッジ研修や青少年の活動にも広がりを見せました。

昭和58年からの田澤記念館の建設にあたり、初代理事長の原介夫氏と二人三脚でその先頭に立ち、人的面や資金面についても中心的な存在でした。

二代目理事長に就任し、記念館の活動は軌道にのり令和2年の現在まで続いています。

この間の特筆すべき活動は、明治神宮鎮座90年祭での記念講演です。この時、平野氏は87歳。この写真にもあるように、田澤義鋪の理想的な地域青年団活動について講演し、最後には、古きを知ってその上で新しいものを創り出すという「温故創新」という言葉で締めくくっています。

昨年までは、ユースカレッジの開講式には必ず参加されましたが、ここ1年ほどは体調がすぐれず、今年度のユースカレッジの開講式には欠席されました。理事、評議員一同心配していましたが今年5月、家族が見守る中静かな眠りにつかれました。享年97歳、まさに巨星墜つ感です。



明治神宮鎮座90年祭 記念講演

#### 故平野重徳氏 青年団経歴

昭和21年	藤津郡久間村青年団団長
昭和23年	藤津郡連合青年団団長
昭和25年	(財)佐賀県青年会館常務理事・事務局長
昭和29年	佐賀県連合青年団団長 (財)佐賀県青年会館理事長(～33年まで)
昭和30年	日本青年団協議会監事
昭和32年	日本青年団協議会常任理事 (財)日本青年館理事
昭和48年	(財)日本青年館建設委員会副委員長(昭和54年落成)
昭和57年	全国青年団OB会(発足)幹事長
昭和63年	(財)日本青年館青年団研究所運営委員
平成元年	(財)田澤記念館理事長
平成8年	(財)日本青年館顧問
平成18年	全国青年団OB会代表世話人

#### おくやみ

歴代の田澤記念館にたずさわってこられた方々が永眠されました。会長の平野重徳氏(塩田町)、前理事長の高松昭三氏(鹿島市)、また、長きにわたり評議員を務めていただいた藤川正明氏(嬉野町)、前監事の田中秀則氏(塩田町)の4名の方がお亡くなりになりました。これまで田澤記念館の発展と充実にご尽力いただいた先輩各位のご労苦に対し、心からご冥福をお祈りいたします。

# 第28期『ユースカレッジ』開催

田澤記念館の主な事業である「ユースカレッジ」が7月16日にスタートしました。例年5月に開始し、年10回開催していますが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、7月からの開催となりました。

今年度は、東亜工機・鹿島機械工業・森鉄工・鹿島市役所の4事業所から14名参加しています。年齢は18歳から20代後半で、鹿島市近隣の市町出身ですが、「田澤義舗」について知っている人は少ないようです。開講式には小池代表理事が出席し、田澤記念館の設立当時のことなど話していただきました。今後、8回にわたって研修を行ない、「田澤義舗」の生き方や業績等の研修を行なうとともに、講義・視察研修なども行ない、変化する社会に対応できる能力の習得などを目的に研修を進めていきたいと思っています。

## 〈第1回 ユースカレッジ参加者からの研修報告〉

### 実習「救急法(AEDの使い方他)」

鹿島消防署より、AEDの使用方法・心肺蘇生法・窒息時の対応を教えてくださいました。AEDを使ったデモンストレーションは、困った場面や判断が難しい場面でどのような対応をすれば良いかを学びました。救急法を学ぶ事で、友人や家族、通りすがりの人など人の命を救うことが出来ると思います。

### 視察研修・実習「誕生院」

誕生院では、写経体験やお経の癒し体験に参加しました。自分の心と向かい合う時間をつくることで、とてもリラックスした時間を過ごしました。仕事をしながら、心の健康が疎かになってしまう人が多いので、自分の心と向き合う時間を作ることが大切だと思いました。また、住職さんの話ではお寺も時代の変化に合わせて変わっていることを知りました。お寺は堅苦しいというイメージではなく、気軽に行ける場所になっていると知りました。



## 令和2年度 第28期ユースカレッジ事業 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

月日	時間	内容	講師 他
7/16(木)	午前	開講式 講義「田澤義舗について」① 「一事實行」	田澤記念館 小池代表理事 田澤記念館 常務理事 松本 真
	午後	講義・実習「救急法(AEDの使い方他)」	鹿島消防署 救急係
		視察研修(誕生院) 写経体験 他	誕生院
8/19(水)	午前	講義「田澤義舗について」② 講義「いのちの理由」	田澤記念館 常務理事 松本 真 鏡智院 住職 中村 一之氏
	午後	視察研修(さが西部クリーンセンター)	さが西部クリーンセンター職員
9/16(水)	午前	講義「私から見た日本の文化(仮題)」	徳永製茶 徳永 ゴヱラ
	午後	講義「怖いお金の話」 講義「地域づくりについて」 視察研修(肥前浜宿・普明寺)	九州労働金庫 肥前浜宿まちづくり公社 役員 林 圭一郎氏
10/16(金)～17(土)	午前・午後	オリエンテーリング	諫早青少年自然の家(宿泊)
	夜	グループワークトレーニング・情報交流会	
11/18(水)	午前	講義「田澤精神を今に活かす」	佐賀県議会議員 土井 敏行氏
	午後	視察研修(下村湖人家)	下村湖人家 館長 島 英彰氏
12/16(水)	午前	講義「田澤義舗に学ぶ」	杉谷 雅博氏
	午後	視察研修(鹿島の歴史)	鹿島市
1/20(水)	午前	企業視察	ユースカレッジ生
	午後	企業視察	ユースカレッジ生
2/17(水)	午前	〈未定〉 閉講式	田澤記念館 小池代表理事

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、研修内容の変更や中止する場合があります。

## 《お知らせ》

本年は「田澤義舗生誕135年」にあたりますが、コロナ禍のため記念大会は中止いたします。

## 出前授業



昨年に引き続き、小学校への出前授業が始まりました。この取り組みは4年目を迎え、鹿島市内の学校をはじめ太良町、嬉野市内の学校にも広がってきました。

4月の鹿島小学校5年生を皮切りに7月まで4校の授業を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止に気を配りながらの授業となりました。各学校では、田澤義舗が提唱した「一事實行」を毎日の生活に取り入れ、実践することを目標に授業を進めてきました。

今から135年前に生まれた郷土の偉人について、初めて聞く児童が殆どでした。授業では『郷土の光 田澤義舗』の小冊子とスライドを中心に学習を進めています。難しい中にも「一事實行」については、自分の生活をより良くする観点からも意欲的に取り組んでいるようです。今後も、学校での出前授業を続けていきます。

## 鹿島市連合青年団 報告

本格的な夏を迎えましたがコロナ禍で、鹿島市連合青年団も企画していたイベントが無期限延期を余儀なくされるなど思うように活動出来ない状況が続いています。4月の定期大会はオンラインで行いましたが、市内の各種イベントも軒並み中止になり今年は活躍の場が無くなりつつあります。

そんな中、感染予防対策を行いつつ開催した例会で今後どのように青年団を守っていくか話し合いました。

一つ目は各自、又はオンラインでの座学強化。田澤先生の本はもちろん、鹿島市の歴史や今を学び、より郷土を知る期間にする事を目標としました。

二つ目は地元のお店の情報交換です。

店での飲食が減った現状に少しでもお役に立てればと、テイクアウトや店舗の情報を交換し拡散しながら自分たちも楽しんでいきます。

今後は鹿島市連合青年団や県青年団の活動も含め、もっとSNS等でも皆様に発信していきたいと思っています。



土曜夜市でのゲーム



青年団サンタと「かし丸くん」



サンタがプレゼントお届け

青年団の活動の様子(昨年)